

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	新潟大学医歯学総合病院矯正歯科におけるスケレタルアンカレッジシステムの使用状況に関する臨床実態調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2002年1月から2023年12月までの21年間に新潟大学医歯学総合病院矯正歯科を受診し、スケレタルアンカレッジシステム(歯科矯正用アンカープレートあるいは歯科矯正用アンカースクリュー)を使用して矯正治療を行った患者さんを対象とします。
③ 概要	顎骨にネジやプレートを固定し、それを支えにして歯を移動させる方法に、スケレタルアンカレッジシステムと呼ばれるものがあります。従来のマルチブラケット装置（いわゆるワイヤーを用いた矯正装置）と併用することで、これまで困難とされてきた方向への歯の移動や、効率の良い歯の移動が期待されます。今回の研究では、当院矯正歯科にて治療を行った患者さんについて、どのような噛み合わせの異常を、どのようなタイプのスケレタルアンカレッジシステムを使用して治療を行ったのか、またその治療効果について調査します。
④ 申請番号	2023-0299
⑤ 研究の目的・意義	スケレタルアンカレッジシステムを使用し矯正歯科治療を受けた患者さんの噛み合わせの状態や治療効果を調べます。これによりスケレタルアンカレッジ使用時の課題を見つけ、今後の治療成績向上の一助とします。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている患者さんの診療記録情報と、治療のために撮影されたレントゲン写真、歯列模型を利用します。提供いただく情報については、氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報のみでは個人が特定できない状態で研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録（初診時間診票、性別、年齢、使用したスケレタルアンカレッジシステムの種類と本数、その目的）、歯列模型、レントゲン写真。
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 歯科矯正学分野
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 矯正歯科 講師 高橋功次朗
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院 矯正歯科 氏名：大森 裕子 Tel：025-227-2960（外来診療室）

	E-mail : oomori@dent.niigata-u.ac.jp
--	--------------------------------------